

日所民諸賢II

我々は決して無理な要求をするものでもない。此は又事を知んて行ふものでもない。た然し働いた金も
も支拂はず然も無警告に七十餘名を首にする。知事に至つては我々もはや黙つては居られませぬ
問題は常にあり。此はもう人とする資本家より起されたため。我々は右の内述へた種々の不当な行為
に對して自己の生活を守る。幾ぶのこあります

西條鶴十萬の所民諸賢に。我々の運情を声出し望むる諸賢の公正なる御批判と御助力を
を御さ度く。日所民諸賢に訴ふものこあります

一九二七、一、八、日所労働組合評議會 関東全所労働組合

村松時計工業議團

發業員一列

西條鶴十萬池袋九三四 高野岩

別記

村松全従業員諸君に訴ふ!!

(原文のまゝ)

—— 目覚部全員の解雇は賃銀値下の前提だ! ——

全従業員諸君!! 吾々の目覚部五十名の全従業員は何を意味するか? 村松工場主が行詰つた管
業状態を打開していくらかにも利益を挙げて行くにはどうしても全職員の労働条件を極度に低下
しなればならぬ。然し賃銀の値下をなすことは前回の値下のおく全員の反対を受けず事件を一度
拡大する。それを恐れた彼村松は先づ一部の解雇を敢し全員の腰の強さを見たのだ
若し之に對して反対運動が起らなると見れば直ぐに他銀値下(請負單價の値下)を行ひ更に又全員
解雇をすべく二段三段の計畫を擧げてゐることは明白な事實だ! 吾々の解雇は以上。如き全
員に對する労働条件低下の激踏である。やがて仕事始めと共に諸君等の頭上にも値下の宣告の
下を水多てあらう。彼等はまたそれを言明してゐるをばないか?!

諸君が我々と共に解雇に反対するとは彼村松を一として全従業員達の経業の前に畏怖せし
彼をして労働条件の低下を断念せしめ其の計畫を放棄せしむることになるのだ。